



ぱれっと

「ありがとう 伝えて広がる 協同の和」

1
2020 January
vol.233

ぱれっと

ありがとう
伝えて広がる
協同の和

1
vol.233
2020 January

URL <https://www.ja-okayama.or.jp/>

あけまして
おめでとう
ございます

新年のごあいさつ
JA岡山ニュース総集編2019

農を担う
桃農家 赤木 吉光さん

一宮地区……………10ページ



JA岡山は、組合員募集中です!

耕そう、大地と地域の未来。

Recipe

旬のレシピ紹介

しらすの パラパラチャーハン

【材料：2人分】

ご飯……………茶わん2膳分
卵……………2個
ゆでて刻んだブロッコリー ……適宜
しらす……………50g
サラダ油……………大さじ1と1/2
顆粒(かりゆ)だし……………小さじ1
水……………大さじ1
塩、こしょう、しょうゆ……………適宜

【作り方】

- 1.ボウルに卵を割りよく混ぜ、熱いご飯を入れて手早く絡める。
- 2.フライパンにサラダ油を入れよく熱し、1を入れ強火でパラパラになるまで炒める。
- 3.いったん火を止め、塩、こしょう、しらす、ブロッコリーを入れ再び炒め、なじんだところで水、顆粒だし、しょうゆを入れサッと炒めて出来上がり。

レシピ提供/永井智二(ながいともかず)
茨城県笠間市にある「キッチン晴人(ハレジン)」
オーナーシェフ

Aglogram

あぐろ
グラム

編集後記

色鮮かな菊の花

あけましておめでとうございます。今月のあぐろグラムでは今支所玄関に飾られている見事に仕立てられた菊をご紹介します。

飾られている菊を仕立てたのは今支所管内の鷹取貞一さんと池葉須悦夫さん。菊栽培愛好家として毎年後楽園で開催されている「おかやま菊花大会」にも作品を出品し、数々の賞を受賞されています。

菊は秋の花で有名ですが正月花としても使われ、長生きの縁起物とされ梅の代わりに飾られることもあるそうです。

編集担当 荻野 透



特集 JA 岡山ニュース 総集編 2019



岡山市へ災害時用品贈呈



加茂川ブドウ販売金額1億円達成



青壮年部災害復旧支援



第19回通常総代会・役員改選



年金友の会総会・親睦会開催



備南千両茄子栽培50周年



インショップ開店



クッキングフェスタ開催



成木悦子さん「家の光」記事活用
体験発表会全国大会出場



食農教育イベント開催



TAC指導員進発大会開催



スマート農業本格化

新年のごあいさつ ~New Year Greeting~

新年明けましておめでとうございます。



代表理事 岡 信明



経営管理委員会 会長 宮武 博

組合員・利用者の皆さまにはお健やかに令和2年の新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

旧年中は、平成から令和へと元号が変わる中、JA事業の各般にわたり温かいご支援とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、農業・JAを取り巻く環境は、TPP11や日欧EPAの発効に加えて日米貿易協定が署名され、農政に対する懸念や、マイナス金利下における信用事業収益の減

少など、組織事業環境の激変に加え、農業就業人口の減少・高齢化、耕作放棄地の増加、食料自給率の下落など構造的な問題を抱えています。さらに、昨年は台風にもなう暴風・豪雨被害により、全国各地でライフラインをはじめ農作物や農業関連施設等に大きな被害が発生するなど依然として厳しい状況が続いています。

このような中、JA岡山は第34回岡山県JA大会において引き続き決議された「創造的自己改革の実践」の基本目標である「農業者の所得増大」、「農業生産の拡大」、「地域の活性化」の実現にむけて、「営農振興計画」、「地域くらし活性化計画」を新たに策定し「JA岡山中期計画」として取りまとめ、関係機関と連携し、盤石な経営基盤の確立とさらなる創造的自己改革の実践に努めてまいります。

経営管理におきましては、引き続き「3ゼロ運動」を展開し不祥事再発防止に全力を尽くすとともに、組合員・利用者の皆さまの立

場に立ち、より高いサービスを提供できるよう、「自ら考え、自ら行動できる」人材開発の取り組みを継続してまいります。

JA岡山は、経営理念である「地域に密着し、地域に根ざし、地域とともに歩む」を合言葉に、役員・一丸となった事業活動を展開することにより経営基盤を強化し、組合員利用者の皆さまの負託に応えていく所存でございます。

今年も温かいご指導ご協力を賜りますようお願いいたしますとともに、皆さまのますますのご健勝とご発展をお祈り申し上げます。年頭のごあいさつとさせていただきます。

経営管理委員会 会長 宮武 博
 経営管理委員会 副会長 久山 英之
 佐林秋笹石岡神金佐岡齋奥岡藤植尾岡田佐栗三光小岩今正北柴藤
 藤 山井井村宝居藤 藤 山本原月崎本口藤原宅森山崎東田村澤
 淳幸光謙榮正正俊雅準孝正 喜照英裕豪哲雅正健信徳信孔一輝
 守子江治吾人行彦和典治明志勲人一俊士温明之豪生義雄之孝郎久

代表理事 岡 信明
 代表理事 専務 難波 信也
 常務理事 小西 誠一
 代表監事 山本 孝到
 常務監事 藤田 眞樹
 監事 片岡 一明
 五賀 栄一
 久見 壺
 佐藤 敏彦
 出野 邦
 海垣 順一



野菜

防寒対策をして
品質のよいものを
収穫しましょう



営農部指導課
中江 智子

タマネギの管理

●水管理

過湿と過乾燥に注意し、土壌が乾いたら暖かい日の午前中を選んで灌水してください。

●追肥

1 回目は早生品種が12月下旬～1月上旬、中生・晩生品種が1月上旬ごろ。2 回目は止め肥で早生品種が2月上旬、中生・晩生品種が3月上旬ごろに行います。1 回の施肥量は10平方メートルあたり窒素成分で約60～80gです。止め肥が遅れると病気の発生や貯蔵中の

腐敗を招く危険があるので時期を逃さないよう注意が必要です。

留め具や石などでしっかりと押さえてください。

べと病の発生に注意してください。罹病株は抜き取り、ほ場外で処分し、薬剤防除もあわせて行います(資料1)。

雑草や野菜の残った根などを取り除き、約30cmの深さまで土を粗く掘り起こします。掘り起

野菜の防寒対策

ハウレンソウやコマツナなどは低温に強い野菜ですが、防寒対策をして品質のよいものを収穫しましょう。

●トンネル

アーチ状にした支柱の上から、ビニールフィルムや寒冷紗などで畝を被覆します(資料2)。ビニールフィルムは保温性に優れますが、日中はトンネル内が高温になるので裾をあげるなど換気が必要です。

●べたがけ

寒冷紗や不織布を直接野菜の上にかける「直がけ」と、支柱などで少し隙間をあけて被覆する「うきがけ」があります。風で飛ばされないように

花き

バラの一般的な
木立ち性品種
について説明
します



営農部指導課
中川 雄一

1 年で一番寒い時期、バラのせん定時期です。さまざまなタイプがあり、方法も様々ですが、一般的な木立ち性品種について説明します。バラの花言葉は多様で、贈り物にするには色を選ぶ必要があります。また、日本には高山植物のタカネバラ、富士箱根地区の山地に咲くサンショウバラなど美しい野生種もあります。

●せん定の時期とねらい

〔時期〕生育が停止している1月～2月。
〔ねらい〕混み合わないよう、樹形をコンパクトにすることで、陽当たりと風通しがよくなります。古い枝や枯れ枝を取り除くことで、若返ります。来年の枝数を制限して立派なを咲かせます。

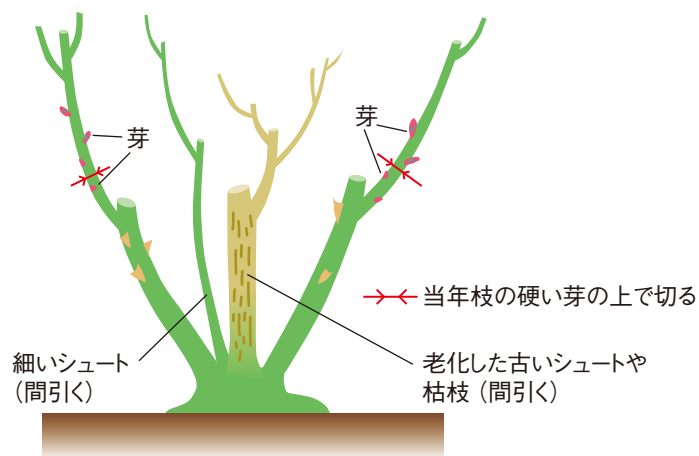
〔手順〕枯れ枝や弱った枝を元から切り取り、数を減らすと樹形が分りやすくなります。春以降に枝が伸びた時の樹形を想定しながら、前年に伸びた枝にある芽(2～3個残し)の上で切ります。古い枝の途中で切ると芽が吹きにくくなります(資料3)。

枝の内側の芽の上で切ると株の立ち上がりは高くなりますが、横張が少なくコンパクトに仕上がります。株の外側の芽を残すと横張の樹形になります。ただし、下向きの芽は伸びが悪いので使わないようにします。枝が直立する品種では、内側の芽をたくさん残すと混み合うので、株全体の枝の配置を考えながら芽を選びましょう(資料5)。

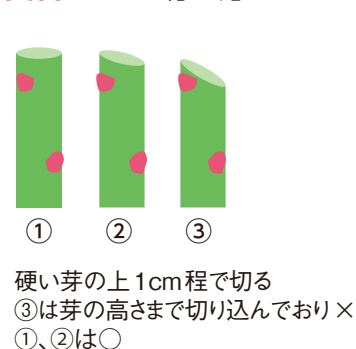
●残す芽の選び方

前年から残っている側枝が多すぎると、各々1本ずつ伸びても春以降に混みすぎるので、できるだけ太く充実した側枝の芽を残し、弱い側枝は付け根から間引きます。充実していない枝は緑色傾向で、充実した枝は赤みが強いことが多いと思います。硬くまだ動く前の芽の上まで切り戻しますが、動きだして緩んだ高い位置の芽を残すと、春以降、弱い枝が短く伸

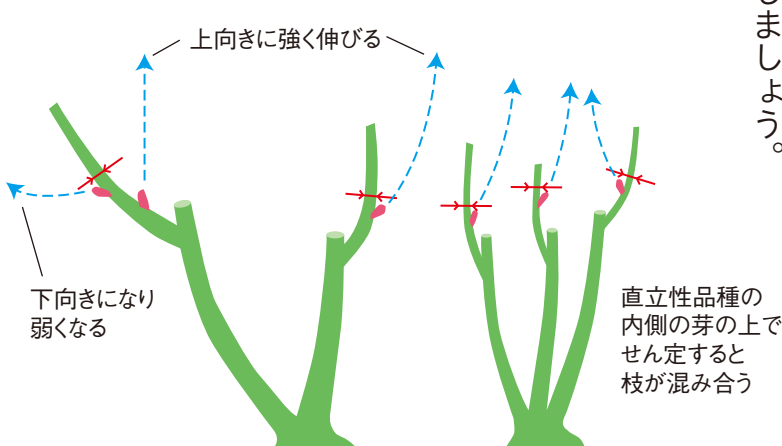
資料3 残す枝の選定と切り戻し



資料4 茎の切り方



資料5 残した芽と茎の伸長



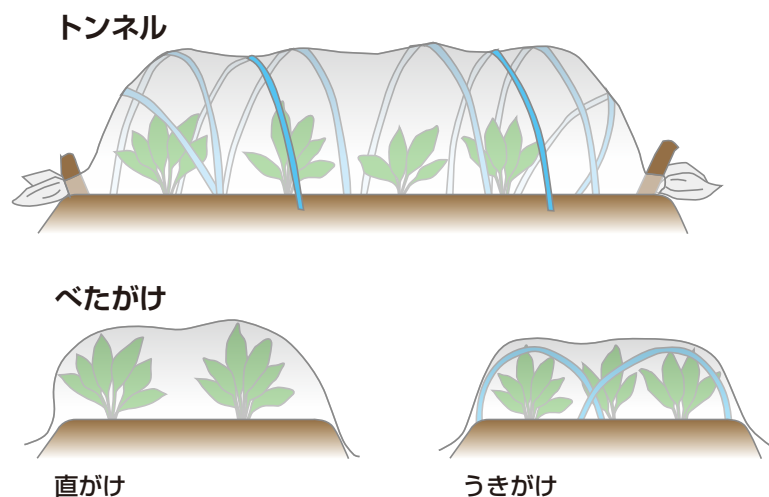
●その他

黒星病やうどんこ病などが多発していた場合は、落葉や枯れ枝をきれいに掃除していき、春早めから予防するようにしましょう。

資料1 タマネギに登録のある農薬一覧(例)

薬剤名	適用病害	希釈倍数	使用時期 (収穫〇〇日前まで)	使用回数
アミスター 20フロアブル	べと病・灰色腐敗病	2,000倍	前日	4回
シグナムWDG	べと病・灰色かび病	1,500倍	7日	3回
リドミルゴールドMZ	べと病・白色疫病	1,000倍	7日	3回
ランマンフロアブル	べと病・白色疫病	2,000倍	7日	4回

資料2 トンネルとべたがけ



こした土は耕さず、塊のまま寒気にさらしてください。硬くなった土が空気に触れ、雨風にあたり日光を浴びることで柔らかくふつくとします。また地中にいる害虫や病原菌を減らす効果もあります。

果樹



営農部指導課
小野 智寛

主枝延長枝を長く残し過ぎると枝ごとの勢力差が強くなるので注意しましょう

今月はブドウを植え付けてから3年目までの整枝・せん定について紹介しますので参考にしてください。

●ブドウの整枝・せん定

ブドウの整枝・せん定はいろいろな手法がありますが、ここでは岡山県主流の短梢せん定平行整枝法をもとに説明します。

●短梢せん定平行整枝法

苗木を植えて1年目はまず、新梢1本を選び、支柱に誘引しながら上へ伸ばしていきまです。棚下約40〜50cmのところで一端切断し、切断箇所より下の2本の新梢を伸ばし、棚へ誘引します。棚下で切断せず、そのまま伸ばしてもう一本は強勢な副梢（わき芽のこと）を利用するといった方法

もありますが、副梢が負けてしまい枝が太らないということもあるため、前者で説明した棚下で切断し副梢を2本使う方法をおすすめします。

外線にむかって誘引した枝は、7月下旬から8月上旬に摘心して枝を充実させます。副梢が大きくなると新梢が太く扁平となり、翌年の発芽が劣って枝が不揃いになるので、誘引枝以外の副梢全て2〜4枚残して摘心します。2月中旬ごろの冬季せん定では7月中旬までに伸長した部分までで切り戻します（資料6）。

●整枝の形

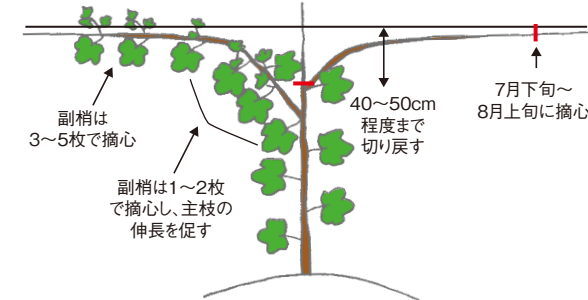
平行整枝の中にもH型整枝や一文字整枝、WH型整枝（資料7）などいろいろな型がありますが、ここではWH型について説明します。

前述の1年目のせん定に続いて、2年目は、主枝の側面から発生する新梢を、主線に誘引し、主枝延長枝にします。主枝延長枝は、冬季に16〜18節を残して切り戻して主線に結束します。ブドウは枝の先端の芽ほど早く発芽して新梢が強く伸び、基部

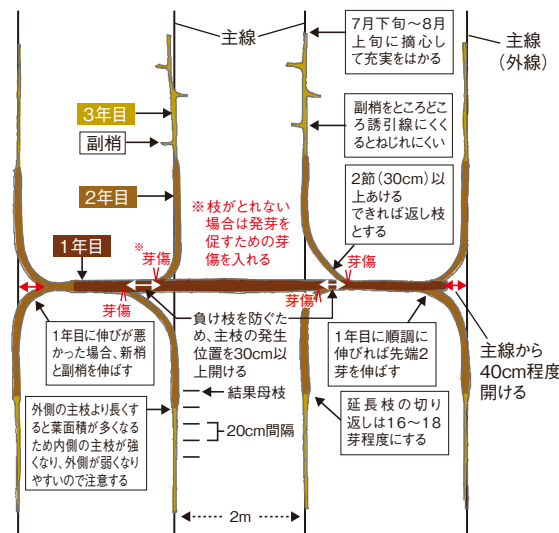
の新梢ほど伸長が抑えられる頂部優勢が他の果樹に比べ強く出る特性があります。そのため、先端の3節を除いて各節に芽傷を入れて発芽を促してあげましょう。主枝延長枝を長く残し過ぎると枝ごとの勢力差が強くなり、翌年の結果母子の確保が難しくなるので注意しましょう。

3年目は、小指以上の太さの枝に結果させていきますが、前年枝から発生する結果枝の結果量を少なくします。結果枝の切り返しは、結果部位の上昇を防ぐため1芽せん定としましょう。資料8に大まか

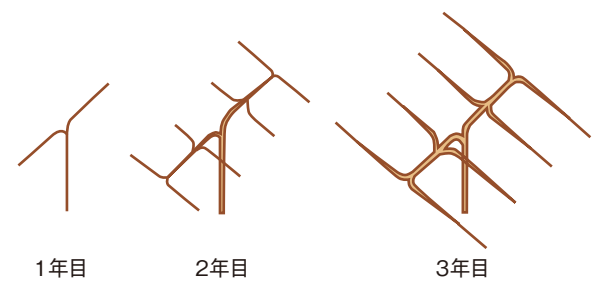
資料6 整枝の仕方（1年目の生育期の姿）



資料7 整枝の仕方（3年目生育期の姿）



資料8 WH型整枝の育成



な1年目から3年目までの樹の形のイラストを載せていますので参考にしてください。